

特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク 2012 年度臨時理事会議事録(案)

1. 日時：2013 年 2 月 26 日（火）18 時 30 分～19 時 45 分
2. 会場：かながわ県民活動サポートセンター 12 階
横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
3. 出席者：理事総数 18 名、出席理事 16 名（本人出席 14 名、委任出席 1 名、書面出席 1 名）
(本人出席者)
植山利昭理事長、鷹野克彦副理事長、丸山善弘副理事長、大石努理事、水島三千夫理事、高松民吉理事、野内博理事、榎本一雄理事、濱田政宏理事、石田安秀理事、森清一理事、高坂徹理事、柳原孝美理事、高松清美理事、
(委任出席者)
青木仁理事（野中義彦）
(書面出席者)
河西英彦副理事長、
(欠席者)
難波慶一理事、高松和則監事、宮澤泰隆監事
(オブザーバー)
宇井葉子（あやせ災害ボランティアネットワーク）、海野千秋（横須賀災害ボランティアネットワーク）、鈴木幸一（日本ボーイスカウト神奈川連盟）、大田哲夫（特定非営利活動法人藤沢災害救援ボランティアネットワーク）、荻原多聞（神奈川災害救援ボランティア推進委員会）、早坂公幸（かながわ勤労者ボランティアネットワーク）、丸恭輔・柿本秀二（葉山災害ボランティアネットワーク）、川辺裕子（特定非営利活動法人都市防災研究会）、塩沢祥子（神奈川災害ボランティアネットワーク）
(事務局)
石田昌美・山内潔（神奈川県生活協同組合連合会）

議長 植山利昭理事長

4. 議事の経過の要領及びその結果

18 時 30 分、石田昌美事務局より実出席理事 14 名、委任出席理事 1 名、計 15 名であり理事会は成立をしていることが報告された。定款の規定により議長に植山利昭理事長が就いた。議長は開会を宣し、議事を進行した。
議事録署名人に石田安秀理事、高坂徹理事を指名した。

5. 挨拶

植山利昭理事長より、3 者（かながわ県民活動サポートセンター、社会福法人神奈川県社会福祉協議会、特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク）で協定を結び実施している「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業」が 3 月 31 日をもって終了する。新たに 4 者（かながわ県民活動サポートセンター、社会福法人神奈川県社会福祉協議会、社会福祉法人神奈川県共同募金会、特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク）で協定を結ぶにあたり臨時理事会を開催した旨の挨拶があった。

6. 【報告事項】

1. 2012 年度第 2 回理事会議事録
2. 2012 年度第 4 回（11 月）運営委員会議事録
3. 2012 年度第 5 回（12 月）運営委員会議事録
4. 2012 年度第 6 回（1 月）運営委員会議事録
議長より提案があり議事録を確認した。

7.【議決事項】

(1) 理事・監事の状況と役割分担及び運営委員会の構成について

丸山善弘副理事長より、かながわ勤労者ボランティアネットワークの飯島智幸理事が異動により理事を辞任された。後任は早坂公幸さんとなるが、総会で議決されるまでは、理事会にはオブザーバー出席、運営委員会には運営委員として出席する旨と、現在の理事の役割分担及び運営委員会の構成について提案がされた。

早坂公幸さんの紹介と挨拶があった。議長が理事に諮ったところ全員異議なく提案通りの内容で承認された。

(2) かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業の終了と神奈川県災害救援ボランティア支援センターの設置について

丸山善弘副理事長より、かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業については、3月31日をもって終了する。平成25年度以降の展開について、①現地に拠点を置く体制から自主的な活動を支援する体制への移行、②神奈川県の足元を強める活動を神奈川県は提起している。神奈川の防災力・受援力の強化をテーマに被災地支援とリンクする神奈川県災害救援ボランティア支援センターを設置する旨の提案がされた。議長が理事に諮ったところ全員異議なく提案通りの内容で承認された。

(3) 神奈川県災害救援ボランティア支援センターの運営等に関する協定書(案)の締結について

丸山善弘副理事長より、従来は3者(かながわ県民活動サポートセンター、社会福法人神奈川県社会福祉協議会、特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク)で協定を結び、「かながわ東日本大震災ボランティアステーション事業」を実施してきたが、新たに社会福祉法人神奈川県共同募金会が加わり、4者で災害時における神奈川県災害救援ボランティア支援センターの運営等に関する協定書を締結する旨の提案がされた。

神奈川災害ボランティアネットワークの資金と支援センターの活動資金との関係、神奈川災害ボランティアネットワークの活動目的と支援センターとごっちゃにしてはならない、次々年度以降についての活動資金の担保、地域防災計画に位置付けられている活動であり予算措置を県に求めるべき、平常時の事業計画・費用に関する事項は協定書の中に明記すべき、財政措置は覚書に盛り込むべき、連絡会議を重視して運営をすすめるべき等の意見が出された。

議長が理事に諮ったところ賛成14 保留2 反対0で承認された。

尚、協定に記述できない部分及び平常時の活動に充てる資金等については、覚書等による記載を求めることとした。

以上をもって全議案が終了したので19時45分議長が閉会を宣し、会は終了した。

上記議事の経過の要領及び結果を証するために本議事録を作成し、議長、議事録署名人は記名押印する。

2013年2月26日(火)

特定非営利活動法人神奈川災害ボランティアネットワーク 2012年度臨時理事会

議長

理事長 植山 利昭

議事録署名人

理事 石田 安秀

理事 高坂 徹